

ICHIDOKU

KASHIBA ASAHIGAOKA HOSPITAL

1

2026



新春号 NEW YEAR



院長 北川 洋

新年のご挨拶

香芝旭ヶ丘病院

新築移転情報

特集

地域医療連携室

病院と地域をつなぐ「橋渡し役」

放射線科

MRIによる脳ドックのすすめ

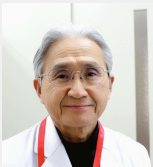


香芝旭ヶ丘病院

HAPPY NEW YEAR

JANUARY 01, 2026

新年のご挨拶 院長 北川 洋



新しい年を迎え、皆様におかれましては健やかな日々をお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は当院の医療活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この冊子でもご報告の通り、私共は今年5月に新築移転を予定しております。現在の場所から、より多くの皆様にとってアクセスしやすい西真美へと拠点を移すこととなります。これを機に私たちが目指す新たな病院像と、地域医療への想いをお伝えしたく思います。

当院はこれまで地域に根ざした病院として、主に慢性疾患をお持ちの患者様の治療に力を注いでまいりました。しかし、最近の1~2年、とくに昨年は救急医療にも力点を置き、地域の方々の急な応需にも対応ができるように体制を整え

てきています。移転後の新病院では、これまでの診療体制に加え救急医療にも注力してまいります。地域の皆様の「もしも」の時に頼れる存在でありたいと願っています。また、「体調がすぐれないな」と思ったときに気軽に立ち寄れる、皆様にとって身近な存在でありたいと考えています。

現在の病院は、周辺にできた中央分庫帯や分散した駐車場のため、車で来院される方々にご不便をお掛けしていましたが、新病院ではお車でお越しの方々にも便利と思っていただけるものと考えております。

新築移転に伴い医療設備も更新され、最新の機器や手術室を備え、ゆとりある空間の中でより高度で質の高い医療を提供できる体制を整えてまいります。しかし、私たちが最も大切にしているのは、医師・看護師をはじめとする医療スタッフ一人ひとりが、患者様一人ひとりの声に耳を傾け、患者様にとって何がベストかと問い続けることです。これこそが私たちが目指す医療の根幹であると考えております。

新しい病院は建物が新しくなるだけでなく、地域の皆様の健康と安心を守るための新しい「拠点」となれば幸いです。

移転までの間、現在の病院での診療は通常どおり継続してまいります。皆様にはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

5月に新病院で皆様にお会いできることを職員一同心より楽しみにしております。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Hospital 新築移転情報 Relocation Update

Construction Progress Report



新病院完成に向けた準備が着実に進行しています。12月現在、1・2階の内装工事や屋上部分の防水工事を進めており、院内の整備が本格化しています。建物の外観工事は正面玄関まわりを残すのみとなり、足場の解体も進んだことで建物の全体像が見えるようになってきました。現在は雨水排水工事や敷地まわりの整備など、建物の周囲を整える工事も進めており、新病院完成に向けた準備が着実に進行しています。職員一同、皆様に快適な医療を提供できるよう、完成の日を心待ちにしております。



新築移転する病院に 大きな期待

奈良県広域消防組合
広陵消防署長 笹次正勝様



日頃より、消防・救急業務に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、救急搬送業務の現場では、貴院の医師・看護師並びに医療スタッフの皆様の迅速かつ確かな対応により、多くの命が救われております。改めて、敬意と感謝の意を表します。



近年、救急出場件数は、増加の傾向が続いており、奈良県広域消防組合では、2030年に救急需要のピークを迎えると見込んでおります。高齢化の進展や医療需要の多様化により、現場の対応はますます複雑化し、消防と医療機関が、これまで以上に連携を深めていくことが重要な課題となっています。



そのような中、貴院が建設を進めておられる新病院には、最新の医療設備や効率的な救急受け入れ導線が整備されるなど、更なる救急医療の充実が期待されています。新しい施設のもと、より安心で質の高い医療が地域に提供されることを、私たちも心強く感じております。より迅速で円滑な救急医療が提供されることを大いに期待し、新たな施設の誕生は、地域医療の充実だけでなく、救命率の更なる向上にもつながるものと確信しております。今後とも、地域の安全と安心を守るため、貴院との連携をより一層深め、地域住民から信頼される救急体制の構築に努めてまいります。



結びに、新病院建設の安全と順調な進捗、そして貴院のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

病院と地域を
つなぐ

「橋渡し役」

地域医療連携室



地域医療連携室 室長
吉田 恵子

「地域医療連携室」と聞いても、具体的に何をしている部署なのか、ピンとこない方も多いかもしれません。

当部署の主な役割は、患者様が病院をスムーズにご利用いただけるようサポートすることと、地域にある他の医療機関や施設との橋渡し役を担うことです。業務は大きく「前方支援」と「後方支援」の2つに分けられます。

地域医療連携室

前方業務

後方業務



当院の地域医療連携室には、看護師2名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名が在籍しております。私たちは、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、地域の医療機関や介護施設、ケアマネジャーの皆さまと密に連携を図る「窓口」としての役割を担っています。

前方支援

POINT 1 紹介状（診療情報提供書）の事前準備

連携室では、他の医療機関からの紹介状を事前に電子カルテにスキャンし、医師が診察前に内容を把握できるように準備します。これにより、診察や問診が円滑に進み、患者様はスムーズに受診できます。

POINT 2 地域医療機関との連携

他の医療機関からの診察やCT・MRIなどの検査依頼に対応し、検査結果（所見）を速やかに依頼元にご報告することで、当院の医師と地域の先生方とのスムーズな情報交換をサポートしています。

後方支援

POINT 1 課題の早期発見と調整

入院の早い段階から、患者様やご家族様、ケアマネージャーなどと密に連絡を取り合い、退院後の生活に関する課題（自宅への退院が難しい理由など）を早期に見つけ出し、調整を進めます。

POINT 2 最適な退院先の検討と調整

経験豊富な社会福祉士（ソーシャルワーカー）や看護師が、ご自宅、リハビリ専門病院、介護老人保健施設など、患者様にとって最も望ましい退院先と一緒に検討し、ご相談に対応します。

わたしたちの想い

当部署は、患者様が安心して医療を受け、次の生活へスムーズに移行できるよう、病院と地域社会の確かな架け橋となることを目指しています。常にご本人様にとって何が最も大切かを考え、すべての皆様に笑顔を届けられるよう、誠意をもってサポートしてまいります。

Brain Screening NEWSLETTER

健康診断ではわからない脳の病気



MRIによる脳ドックのすすめ



放射線科 副主任

竹下 貴英

「最近、物忘れが増えた気がする」

「家族に脳卒中の人がいて少し心配」

そんな不安を持つ方は多くいらっしゃいます。

脳の病気は、体のほかの病気と違ってはっきりした症状が出にくいことがよくあります。

通常の健康診断を毎年受けていても、

脳の異常は見つけれられないことが多いのです。

どうして脳ドックが必要なの？

脳に起きている変化は、一般的な健康診断では知ることが出来ません。

脳卒中や脳梗塞などの脳の病気は、突然起こるイメージがありますが、実はその前から脳の中では小さな変化が始まっています。40～60代では、血管が細くなったり、小さな脳梗塞が起きてても、自覚症状が出ないことがあります。

脳の病気は、症状が出てから気づくと治療が難しくなることがあり、早期に異常を見つけることで、生活習慣の改善や精密検査など次の一手を早く打つことができます。

また、「何も問題がなかった」という結果も、その後の健康管理の指標となり、大きな安心につながります。

MRIでわかる“脳のサイン”



無症候性脳梗塞

本人は気づかないごく小さな脳梗塞の跡です。将来の脳梗塞リスクにつながる可能性があります。



脳動脈瘤

血管の一部がふくらんだ状態です。破れる前に見つけることができれば、適切な治療で脳卒中を予防できます。



脳の萎縮（脳の“老化”）

加齢とともに進みますが、生活習慣によって進行が変わることがあります。「脳年齢」の目安になるため、今後の生活改善に役立ちます。

血管の動脈硬化の程度

脳や首の血管がどれくらい細くなっているか、詰まりやすくなっているかをチェックできます。

どんな人に特におすすめ？

- 40歳以上
- 家族に脳卒中の方がいる
- タバコを吸う
- 健康診断だけでは不安に感じる
- 最近物忘れが気になる
- 高血圧、糖尿病、脂質異常など



検査の流れ

受付

約10分

MRI検査

約30分

ディスクお渡し
(検査結果の画像)

約15分

お会計

受付からお帰りまで1時間ほどです。

これからも続く家族の笑顔のために、
脳の健康をチェックしませんか？

外来診療のご案内

令和8年1月1日

◆お知らせ◆

- ・診察受付時間：当日・初診の方⇒8:15～12:00
予約再診の方⇒再来機にて受付8:15～
- ・診察は**金料予約制**となっております。
- ・電話でも予約を承っております。【電話予約受付時間 8:30～17:30】

〒639-0265 奈良県香芝市上中839番地
 社会医療法人 高清会 香芝旭ヶ丘病院
 TEL 0745-77-8801 (代表) FAX 0745-78-5090

整形外科	月	火	水	木	金	土
	北川 洋	北川 洋	藤井 唯誌	北川 洋	北川 洋 野中 康仁	北川 洋
	佐古 宗仁	藤岡 百合人	井上 大典	藤岡 百合人	松森 裕昭	藤井 唯誌
	西岡 延也	佐古 宗仁	西村 晴人	藤井 唯誌	中村 智	西岡 延也
		松森 裕昭	矢野 友大	佐古 宗仁	井上 大典	稲垣 有佳
		中村 智			菅原 出人	

- 整形外科の診察は、毎週火・木（別当 琴田）/毎週火・金（別当 松森）/毎週水・金（別当 井上）
- 人工関節外来の診察は、毎週水・木・土（別当 藤井）/月・火・木（別当 中村）
- 整形外科専門外来の診察は、毎週水曜日：09～18：30（別当 次郎）

ペインクリニック	磯貝 圭司				藤原 雄紀
----------	-------	--	--	--	-------

- 腰痛診療の診察は火曜日 12:30～16:00
- 神経痛診療の診察は土曜日 9:00～12:00

内科	平山 俊英	新名 直樹	平山 俊英	神本 有美	平山 俊英	平山 俊英
	神本 有美	小林 厚 <small>（消化器科）</small>	新名 直樹	平野 勉人 <small>（消化器科）</small>	神本 有美	
	高井 舞子 <small>（消化器科）</small>		神本 有美	松山 正浩		伊藤 秀文 <small>（消化器科）</small>
			千塚 敬士 <small>（消化器科）</small>			

- 内科診療の診察は、一部内科・リウマチ科との併診となります。
- 神経痛診療の診察は、一部内科・神経痛内科との併診となります。（予約による工口一様診療あり）
- 小児科診療の診察は、一部閉鎖しております。（再診のみ診察）火曜日（午前）
- 高井舞子の診察は月曜日（午前）
- 伊藤秀文の診察は第2・4・6土曜日（午後）

リウマチ科	新名 直樹	新名 直樹	新名 直樹	森田 貴典 <small>（膠原病科）</small>	新名 直樹
	藤本 隆	西村 友美子	藤本 隆		

- 西村友美子の診察は火曜日（午前）
- 新名直樹の診察は月・火・木と土（午前）

消化器内科	澤井 雄雄				
-------	-------	--	--	--	--

- 澤井雄雄の診察は火曜日（午前）

消化器外科	岡藤 卓也	岡藤 卓也			
-------	-------	-------	--	--	--

- 岡藤卓也の診察は月曜日（午前）・水曜日（午後）
- 腹部ヘルニア外科診療

循環器内科	平山	平山	平山	平山	平山	平山
		矢持 悠一	夏山 謙次	尾堀 広幸	矢持 悠一	
		吉村 志明郎		芳谷 英俊	新中 基良	石井 英
		尾堀 広幸	夏山 謙次			

- 心アークル検査・造影（月～金）
- 不整脈専門外来（毎週水曜）
- 新中基良の診察は第2・4水曜日
- 石井英の診察は第1・3土曜日

脳神経外科	横山 和弘	横山 和弘	神 貴右	横山 和弘	大船 久敏	弘中 康雄
-------	-------	-------	------	-------	-------	-------

- 神貴右の診察は水曜日（午前）
- 弘中康雄の診察は土曜日（午前）

心臓血管外科		藤岡 央		田村 大裕	
--------	--	------	--	-------	--

- 藤岡央の診察は水曜日（午前）
- 田村大裕の診察は第2・4金曜日（午前）

乳がん検診施設 乳がん検診					黒村 元昭
------------------	--	--	--	--	-------

- 毎週土曜日12:30～

泌尿器科			中森 啓太		
------	--	--	-------	--	--

- 毎週水曜日9:00～12:00

⚠ 休診等に変更になる場合がございます。最新の情報はお電話にてお問合せください。